車をジャッキアップします。

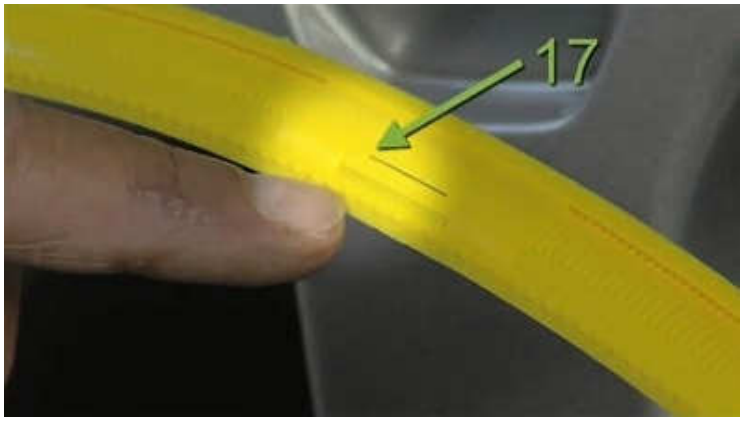
ジャッキスタンド（ウマ）などを利用し、安定した状況での作業を推奨します。

ホイールを取り外して作業する事も可能です。
ホイールを傷付けないようご注意下さい。

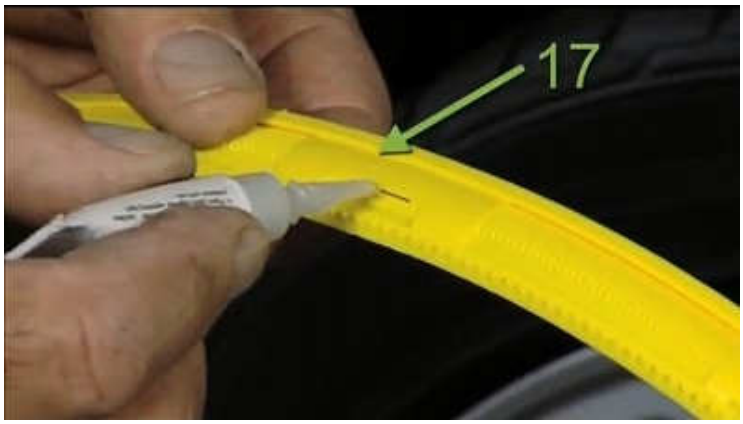
タイヤの空気を抜きます。

0気圧になるまで抜いて下さい。

17インチの場合で説明します。



リムガードのステンレスクリップの差し込み口に番号がありますので、「17」を確認してください。



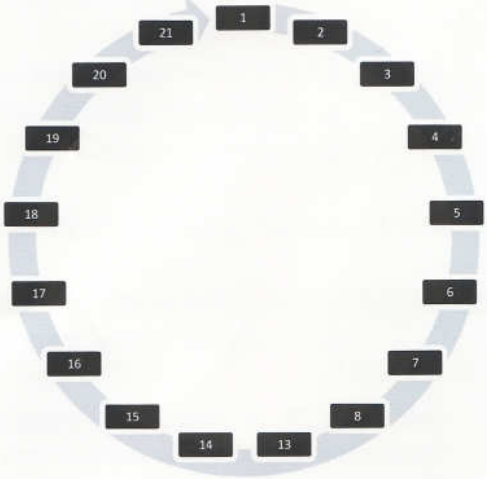
接着剤をつけて

ステンレスクリップのギザギザの歯を
差し込み口に入れるように装着して下さい。

ギザギザの歯はリムガードのホイール側に
出るようになるのが正しいです。

Gripper Location Guide

Wheel size	Insert gripper clips at these points												
21"	1	2	3	4	5	6	7	8	13	15	17	19	21
20"	1	2	3	4	5	6	7	8	13	15	17	19	20
19"	1	2	3	4	5	6	7	8	13	15	17	19	
18"	1	2	3	4	5	6	7	8	13	15	17	18	
17"	1	2	3	4	5	6	7	8	13	15	17		
16"	1	2	3	4	5	6	7	8	13	15	16		
15"	1	2	3	4	5	6	7	8	13	15			
14"	1	2	3	4	5	6	7	8	13	14			
13"	1	2	3	4	5	6	7	8	13				



ホイールサイズが何インチかによってステンレスクリップの取り付け箇所が決まっています。
上記の表を参照して正しい位置に取り付けて下さい。

最後までステンレスクリップを装着して下さい。

目印としてタイヤバルブの場所から開始します。

最後にステンレスクリップを装着した方から
入れていきます。
（17の数字がある方が最後になります。）

ゴムハンマーで叩きこみ、タイヤとホイールの間にリムガードを入れていきます。

入りづらい場合、薄めた石鹸水を吹き付けると入り易くなります。

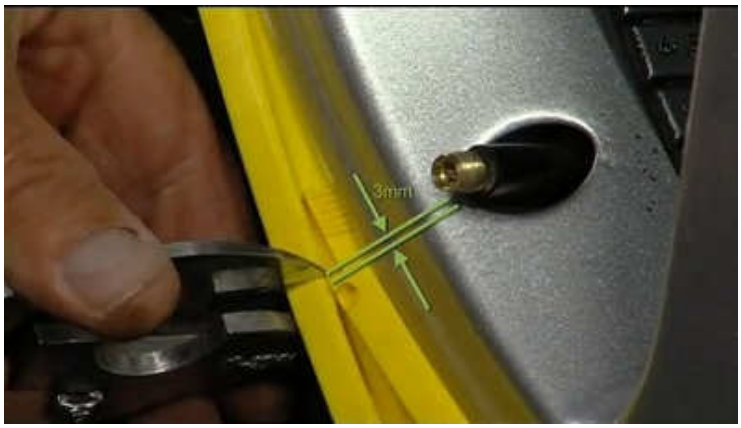
叩きこんだ衝撃でステンレスクリップが外れたりずれたりしないよう、注意して下さい。

さらにゴムハンマーで叩きこみ、一周するまで進めていきます。

叩きこんだ衝撃でステンレスクリップが外れたりずれたりしないよう、注意して下さい。

矢印のような角度で叩きこんでいきます。

一周するまで叩きこみました。

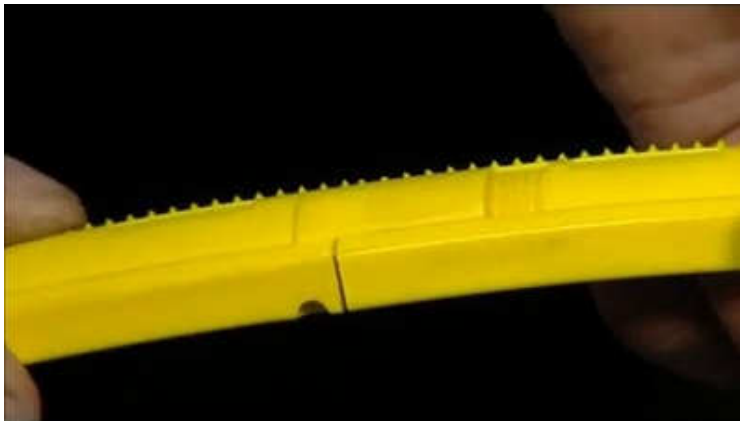


3mmくらいの幅をあけて印をつけて下さい。

（最後は継ぎ目用ジョイントクリップで継ぎ目を
隠しますが空きすぎ・出っ張りすぎには注意
して下さい。）

印をつけたところをニッパーで

切りました。

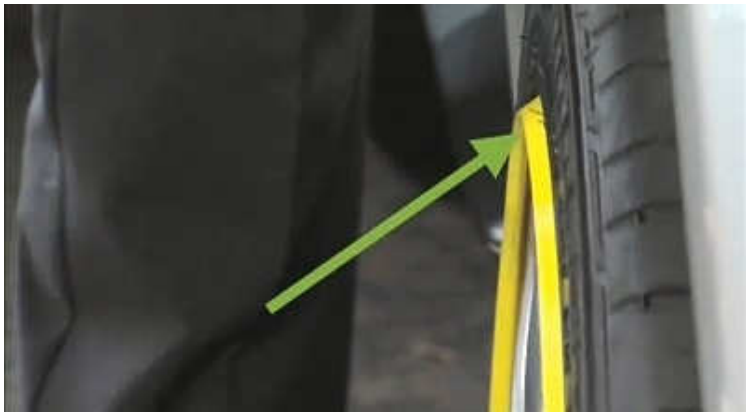


リムガードはこのように端と端がピッタリ噛み
合うようにできています。

端と端が噛み合うように注意して下さい。

噛み合うところに接着剤をつけて

ゴムハンマーで叩きこみます。



矢印のような角度からも叩きこみ、しっかり
はめ込んで下さい。

ぐるっと一周、しっかりはめ込みましょう。

飛び出したりしていないか確認して

しっかりはめ込みましょう。

車両の空気圧を確認して下さい。
（記載されている場所はそれぞれの車両で
異なります。）

規定通り空気を充填します。

改めて一周、ゴムハンマーで叩きこみ
しっかりはめ込まれているか確認して下さい。

継ぎ目用ジョイントクリップをつけます。

間違って逆さまに付けないで下さい。

リムガードの円に合うように付けて下さい。

接着剤を付けて、リムガードの穴に
継ぎ目用ジョイントクリップの出っ張りを合わせ

しっかりと20秒以上は押さえて付けます。

ジャッキを降ろして完成です。

取り付け1時間後、空気圧をチェックして
圧が下がっていないか確認して下さい。

注意事項：空気圧を車両取扱説明書にしたがって定期的にチェックすることは非常に重要です。
空気圧が下がるとリムガードが動いたり外れてしまう可能性があります。
ホイールを洗う際は温かい石鹸水やシャンプーで洗うことをお勧めします。
強力な化学クリーナーや酸は使用しないようにして下さい。